

システム企画研修 上野則男のメルマガ2011年5月号です

各位

間もなく、ゴールデンウィークです。  
ゴールデンウィークの間に  
お読みいただいている方もおられるかもしれません。  
ありがとうございます。

この大震災は、東北が日本の製造業を支えている自力を  
世界に知らしめることになりました。  
ほぼ世界中の自動車産業が影響を受けているのですからね。

これを機会に、新しい日本の姿が描けるとよいと  
切望いたします。

今月は7編です。  
以下の要約をご覧ください、  
ご関心あるものをお読みください。

---

以下は作成順です

- 福島原発事故の真因に迫ってきた  
福島原発事故の真の発生原因が  
ようやく報道されるようになってきました。  
上野の当初からの自説でもあります。  
そのご紹介です。
- キャディーズのスーちゃんが亡くなりました  
好きだったスーちゃんの追悼です。
- 赤ちゃんの無垢な笑顔が特上  
ジジ馬鹿ぶりの紹介です。
- 我が家の前に立派な公園ができました  
桜の話題です。
- 自治体選挙の結果  
自治体選挙の結果の上野としての総評です。
- なぜ「想定外」が起きてしまうのか  
「想定外」の発生原因を多少解明しようとしてしました。
- 地震対策チェックリスト  
先月お送りしたものの改訂版です。

まだ書きたいネタがあるのですが、時間切れです。  
ブログを見れる方は、直接ブログを覗いてみてください。

ご関心のあるテーマからお読みいただければと思います。  
今月もよろしく願いいたします。

---

当メルマガは、  
以下の方法でお送りいたしております。  
このメール本文では、「上野則男のメルマガ」のテーマ名だけをお知らせします。  
内容は、以下のいずれかの方法でご覧いただくことができます。

1. 月刊の「上野則男のメルマガ」  
このURLで、バックナンバーを含めてご覧いただけます。  
<http://www.newspt.co.jp/data/mailmaga/mgbk.html>

ブログにアクセスできない方は、こちらをご覧ください。

2. 随時更新される「上野則男のブログ」  
総括の入り口のURLは以下のとおりです。  
<http://uenorio.blogspot.com/>

個別のテーマのURLは、下のテーマ一覧のところに表示しています。

3. 携帯で「上野則男のブログ」をご覧くださいこともできます。  
携帯用のQRコードが、上記の「上野則男のメルマガ」の冒頭部、  
または「上野則男のブログ」の冒頭部右に示されています。  
ご利用ください。

ご意見等につきましては、ブログへの書き込み（なるべくこれをお願いします）か  
当メールへの返信でお願いいたします。

★————— 上野則男のメルマガ —————★

《今号の内容》以下の7編です。ご関心のあるテーマを是非どうぞ！  
以下は作成の新しい順番でございます。  
（表示しているのはブログのURLです）

- 福島原発事故の真因に迫ってきた  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_06.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_06.html)
- キャディーズのスーちゃんが亡くなりました  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_28.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_28.html)
- 赤ちゃんの無垢な笑顔が特上  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_2244.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_2244.html)
- 我が家の前に立派な公園ができました  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_2728.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_2728.html)
- 自治体選挙の結果  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_8705.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_8705.html)
- なぜ「想定外」が起きてしまうのか  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_6723.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_6723.html)
- 地震対策チェックリスト  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_8337.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_8337.html)

★—————No. 32 11年5月—★

- 福島原発事故の真因に迫ってきた  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_06.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_06.html)

4月6日の朝日新聞朝刊にこういう記事が  
載っていました。

東電、設計の不備指摘  
原発事故分析 福島第2と比較

という見出しで、  
概略以下の内容が報告されていました。

【1. 非常用ディーゼル発電機の損傷】

第1・第2とも14メートル以上の津波に襲われた。

第1では  
タービン建屋内の非常用ディーゼル発電機などが冠水し、  
使用不能。  
これにより、  
原子炉の冷却が不能となり放射能漏れを引き起こした。

第2では、  
発電機などが機密性が高い原子炉建屋内にあり、  
機能を維持した。

【2. 冷却用の海水をくみ上げるポンプの損傷】  
設備がほぼむき出しになっていた第1のポンプは  
すべて運転不能となった。

第2ではポンプ用の建屋内にあった4台のうち1台が  
運転可能だった。

上野は早くから、1番目の点については、これが今回の大事故につながった真の原因だと指摘してきました。

(3/22「福島原発の状況 これが本当」の  
====で困った部分、  
3/31「福島原発事故から学ぶこと」の5. 副系統の軽視)

2番目のことは気がつきませんでした。  
言われてみればそうですね。  
でもそのような報道はなかったように思います。  
知らなければ考えようがありません。

ようやく、本当の原因が追及されだしたということですが、  
表面上の真の原因はこうですが、  
その原因がそのまま現れてしまった2次原因があります。

品質管理・品質保証の世界では、  
前者の原因を「作り込み原因」、  
後者の原因を「流出原因」と言います。

今回の場合の「流出原因」はこうなります。  
福島第1原発ができたのは、1971年から79年までです。  
福島第2や柏崎刈羽の一部ができたのは、  
82年から87年です。

80年頃に、安全な設計になっているのですから、  
その時点でそうならない  
福島第1を見直すべきだったのです。

それをしなかったのはなぜでしょうか。  
その点を今後のために追及しておくべきでしょう。

なお、「作り込み原因」「流出原因」の次に  
「復旧遅延原因」があります。

今回も、ずい分「復旧遅延原因」が目立ちます。  
それは、  
まったくこのような事故を想定していなかったからです。

緊急時の対策を検討しておくことを  
専門家は「コンティンジェンシープラン」と言います。  
これが全くできていませんでしたね。

今回の事故は、  
今後、品質管理や品質保証の領域で研究材料となる  
非常に多くの題材を提供してくれています。

事故で大きな被害を受けられた方のためにも、  
この経験を有効活用しなければなりません。

---

■ キャディーズのスーちゃんが亡くなりました  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_28.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_28.html)

4月21日に田中好子さんが55歳で亡くなりました。  
心からご冥福をお祈りいたします。

私の青春時代のボーカルグループは「ザ・ピーナッツ」でした。  
会社の独身寮のテレビで見っていたことを思い出します。

キャンディーズの活動期間は1972年から78年だそうですから、  
私はすでに結婚していたことになります。

それでも私は「スーちゃん」が大好きでした。  
当時の彼女はただの可愛い女の子でした。  
美人でもないし。

それがアカデミー主演女優賞を取るくらいの成長をする  
「大物」になるとはす想像もつきませんでした。

彼女が残した遺言テープは感激ものです。  
遺影として使われた写真も素敵です。

何の裏もないというきれいさです。  
人間は成長するという見本をまざまざと見せつけてくれました。

ピーナッツ、キャンディーズ、ピンク・レディーを比較すると、  
歌詞といい、振りといい、  
どんどん開放的・刺激的になっていることが分かります。

それぞれのグループの代表的なヒット曲である  
「可愛い花」「もうすぐ春ですね」「ペッパー警部」を  
比較するとそのことがよく分かります。

あらためて、思い出の画面とかで見ると  
キャンディーズくらいがちょうどいいですね。

ところで、スーちゃんは顔形で言うと「たぬきさん顔」  
蘭ちゃんは「きつねさん顔」でした。  
前者の典型美人は吉永小百合、後者は山本富士子、  
今なら誰でしょう。

人の好みはどちらかに決まっているようです。  
私の過去を見ても例外はありません。

因みに、たぬきさん顔は原日本人（縄文人）、  
きつねさん顔は渡来日本人（弥生人）なのだそうです。

---

■ 赤ちゃんの無垢な笑顔が特上  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_2244.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_2244.html)

『致知』5月号に、以下の記事が載っていました。  
矢部廣重氏の「人生を変える二大秘法」の一部です。

---

人が相手の姿で最初に見るのは顔である。  
顔は自分の象徴であり、自己を表現する小宇宙といえる。

柔和な顔、こわもての顔、信頼できる顔、胡散臭い顔など様々である。  
しかし、どんな顔でも“笑顔”は誰をも魅了する。

笑顔とは、  
「あなたと一緒にいることが嬉しい」  
という心のメッセージの表現である。

言葉を使わず、ただ微笑むだけで相手の心を魅了してしまう。  
まさに最高の感化力を持っている。

不思議なパワーを持つ笑顔进行分类してみた。  
・下：自分の笑顔  
・中：モナリザの微笑み  
・上：観音様の慈愛の笑み  
・特上：赤ちゃんの無垢な笑顔

笑顔の質のレベルを整理すると、見えない世界が垣間見えてきた。

相手に一瞬の恵みを与える「恵顔」（えがお）。  
誰をも魅了する「絵顔」（えがお）。  
達人の領域を目指す「慧顔」（えがお）。

笑顔の探究。これこそ残された人生の一大テーマである。

---

同居している孫娘の笑顔に会うと  
本当に特上だと思います。  
ですが、なかなかその瞬間を写真に撮るのは困難です。  
写真を撮ろうとすると「無垢」ではなくなってしまうのです。  
それでも、それに近い写真をご紹介します。

（写真はブログからどうぞ）

因みに、別項のスーちゃんの笑顔は「上」で  
現代の観音様のようなです。

---

■ 我が家の前に立派な公園ができました  
[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_2728.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_2728.html)

品川区の我が家の真ん前に立派な公園ができ  
4月10日にオープンしました。  
当日は、東日本大震災から1カ月目でしたが、  
この公園は防災目的の防災広場なのです。

今までの4倍くらいの広さになりました。  
開園式には、日曜というのに  
濱野品川区長も参列し挨拶されました。

防災広場ですから、  
緊急用のトイレ4基、炊き出し補助施設などもご披露されました。  
このような防災施設が近くにできるのは、  
たいへん嬉しいことでした。

開園後は毎日大勢の子どもたちがお母さんに連れられて  
集まってきます。  
どこから来るのだろうか？と不思議に思うほどです。  
「日本にも子供がこんなにいるではないか」と。

この公園には、桜が1本、ピンクの花水木数本、  
ベニハナ栴の木、もみじ数本、さつきなどが植えられました。

桜と言えば、  
今は八重桜が満開です。  
正確に言えば、  
一葉は散ってしまい、紅い関山、白い松月も盛りを過ぎ  
普賢象が満開なのです。

私のジョギングコースでは、  
大井町駅近くの立会い通りが各種の八重桜の並木です。  
その写真をご覧ください。

(写真はブログからどうぞ)

今年、気が付いたのですが、  
ここの桜の数本の幹に  
「煙草を捨てないでください」との  
注意書きがぶら下げられました。

無料なのですが、  
思い当たるがありました。

我が家の前にある広がる前の公園にも  
昔は八重桜が2本ありました。  
ある時、私が吸殻入れに溜まっていた煙草の吸殻を  
桜の樹の根元に「肥やしになるだろう」と思って  
撒いたことがあります。

そうしましたら、  
しばらくすると1本が枯れてしまいました。  
1-2年後、もう1本も枯れました。  
非常に残念に思いました。  
ですが、私の行為に原因があるとは思ってもみませんでした。

今回、注意書きを見て  
ハッと思い当たりました。  
この立会い通りの桜も何年かで  
3本ほどが枯れてなくなっていました。

それで、私の経験の二つを結びつけて  
「さては、たばこのアルカロイドが桜に悪いのではないかと」  
(これは推定です)

知らないことは恐ろしいことです。  
親切心がたいへんな仇になってしまいました。

心が痛むことです。

まったくの余談ですが  
「新しい公園のトイレの電気が明るすぎる、  
勿体ない、半分で良いのではないか」という  
申し入れをしている最中です。

---

#### ■ 自治体選挙の結果

[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_8705.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_8705.html)

4月11日の第1次、4月24日の第2次と  
自治体の首長および区議・市議等の選挙が行われました。

第1次の最大の関心事は東京都知事選でした。  
正確に言えば、  
候補者を受け付ける2週間前までが関心の対象でした。  
石原前知事が出馬することになったので、  
関心は終わりにになりました。

私は、石原さんは晩節を汚したことになったと思います。

渡辺美樹さん、そのほかで戦わせるべきだったでしょう。  
私個人的には、経営のプロであり成功者である渡辺さんに  
是非一度  
行政府の経営をやっていただきたいかと思っています。

今の地方自治体の首長は皆経営の素人です。

第2次での特筆事項は、  
いわゆる「地域政党」の帰趨です。  
橋下大阪府知事の率いる「大阪維新の会」の公認候補が  
当選したのに対して、  
河村たかし名古屋市長の「減税日本」が擁立した2候補は  
落選でした。

この結果には感心しました。  
橋下知事は、  
考え方といい、アプローチ法といい正当派です。  
「減税日本」は受け狙いの政策で深みがありません。  
胡散臭いのです。

よく市民は見ていますね。

これにからんで、  
今の国政は人材不足です。  
直接選挙制度を考えた方がよいのではないのでしょうか。

この点についてはあらためて検討してみたいと思います。

---

#### ■ なぜ「想定外」が起きてしまうのか

[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_6723.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_6723.html)

東日本大震災の一連の被災に関しては、  
「想定外」が乱発されています。  
なぜ想定外が、そんなに多いのでしょうか。  
一般の市民たちは疑問に思っています。  
今の状況では、今年の流行語大賞になりそうですね。

そこで、その疑問を探るべく  
リチャード・S・テドロ教授の  
「なぜ、リーダーは「失敗」を認められないのか」  
を読みました。

副題に「現実に向き合うための8の教訓」と付いています。  
原題は単に「DENIAL」（否定、否認）のようです。  
哲学嫌いで  
具体的なHow to（処方箋）好きの日本人読者向けに  
出版社がこの副題を付けたのでしょうか。

当書の訳者は、否認のことを、  
「不愉快な現実に対して本当ならひどすぎる、  
だから本当のはずはないと考える無意識の心の働きだ」  
と注釈しています。

「想定外」は  
「そのことが起きるかもしれない」ことを否認しているのです。

当書の真骨頂は前半の著名企業の具体的な失敗物語・成功物語で、  
これはなかなか興味深いものがあるでしょう。

当書の後半に、  
「現実に向き合うための8の教訓」として  
以下の8項目が挙げられていました。

1. 否認に立ち向かうのはまさに今、今日この日である  
危機を待っているはいけない。
2. 事実を無視したり、否定したり、理屈をこねたり、  
ねじ曲げたりすることが、その残酷さを和らげたりはしない
3. 権力は人を狂わせる
4. 最高意思決定者が聞く耳をもつ
5. 真実を語る
6. 長期的な視野に立つ  
否認と近視眼的な考え方には密接な関係がある
7. 相手をバカにするのは、否認の徴候である  
すべきでないことをしている人は、  
その呼び名を変えようとする傾向がある。
8. たいていの人間は、たとえ間違っていようと、  
過去の常識にしがみつこうとする

この「教訓」はランダムに並んでいて、  
全体像が掴めません。

そこで、分析・整理好きの私が、  
以下のように多少整理してみました。

1. 否認の状況について
  - ・ たいていの人間は、たとえ間違っていようと、  
過去の常識にしがみつこうとする
  - ・ 相手をバカにするのは、否認の徴候である。
2. 否認が起きる原因
  - ・ 権力は人を狂わせる  
(上野注「成功は人を狂わせる」や「過信は人を狂わせる」など  
他にも多数ありそうです)
3. 否認への対応原則
  - ・ 否認に立ち向かうのはまさに今、今日この日である
  - ・ 事実を無視したり、否定したり、理屈をこねたり、  
ねじ曲げたりすることが、その残酷さを和らげたりはしない  
(だから否認をやめろ！)
4. 否認の対策
  - ・ 最高意思決定者が聞く耳をもつ
  - ・ 真実を語る
  - ・ 長期的な視野に立つ

こうしてみると、  
否認をテーマに展開したことはよい着眼ですが、  
「教訓」としてはどの項目も物足りない感じがします。  
そこで、もう少し突っ込んでみることにしました。  
(とは言うものの、これでもまだ未完成の感じです)

#### 1. 否認の発生原因

人間はなぜ否認したがるのでしょうか。  
それは訳者の言葉を少し補強すると以下ようになります。

こうあってほしいと思うからだ。  
だから、そうなってほしくないことを否定する。  
都合のよい方の情報を信ずる。  
都合の悪い方を否定する。

そうするのは、それが有利で楽だからです。

これが否認の原因のすべてで、極めて単純です。

そんな地震は起きるわけがない。  
そんな津波は来るわけがない。  
自分がガンのわけがない。

(超常現象を否定した早稲田大学の大槻義彦元教授)  
「そんなことがあるわけがない」  
「我々が知っている科学で説明ができない、から」  
(これは笑止千万の論理です)

## 2. 否認を避ける対策

否認の原因がそういうことだとすると、  
これを覆すのは容易ではありません。

「どうやって日本の80年代のバブルを見抜くのか、  
あるいは、  
数年前のサブプライムローンの脅威を見抜くのか」

を考えてみれば分かります。

2-1 否認を避ける対策 状況その1.  
「ことが続いている時、あるいは調子がよい時、  
それがいつまでも続くと思ってしまう」場合

本書での否認回避の成功例は、  
すべて危機的な状態が背景になっています。  
この場合は過去を否定するのも容易です。

具合が悪い時、  
逆境の時誰しも何とかしようと現状を否定するでしょう。  
これが成功するかどうかは能力と運です。

むしろ良い時に「待てよ、これでよいのか？」  
と問題意識を持たなければなりません。

それが否認回避の入り口です。

その入り口はどうすれば開くのでしょうか？  
「奢れるもの久しからず」「栄耀栄華は続かない」のです。  
「事業ライフは30年」とも言います。

まずは、トップがそのような哲学を持っていること、でしょう。

上掲の「長期的な視野に立つ」はこのことに関係あります。  
私を含めて“超”楽観主義者はトップとしてダメでしょうね。

状況その1の否認回避の入り口の2番目は、  
「情報収集マインド」です。  
日ごろから本書で言う「聞く耳を持つ」が必要です。

社外へ出て人の話を聞くことなどが有効です。  
商工会議所とか、  
経営者の集まりをバカにしてはいけません。  
そこから多数のヒントが得られるのです。

そういうセンスのない方は  
経営のトップをやってはいけません。

社外に行く余裕がないトップなら、  
少なくとも信頼する人の助言が得られるようにすべきです。  
裸の王様にならないように、  
そういうスタッフを置かなければなりません。

本書で勧める、  
部下が「真実を語る」ことも対策としてありますが、  
上司に聞く耳がなければ無効ですね。

状況その1の3番目の否認回避の入り口に  
「皆がそうだと言っていることを疑う」  
があります。  
これも成功しているトップの行動です。



「皆が反対することでもやる」  
日本経済新聞の「私の履歴書」で紹介された例でも  
宅急便を始めたヤマト運輸の小倉昌男元社長、  
日本で初めての本格的なコンビニを始めた  
セブンイレブンの鈴木敏文元社長  
があります。

お二人とも、  
このビジネスは必ず成功するという信念を持ち  
社内の猛反対を押し切って  
そのビジネスを始めておられるのです。

2-2 否認を避ける対策、状況その2  
「ことが起きたときに[大したことではない]  
と影響を小さく見てしまう」場合。

リコール問題などの例がこれに該当します。  
この対策には、まずは、  
「ものごとを嗅ぎ分ける鋭敏な感覚を持っている」  
ことが必要です。  
これはやはり資質でしょうね。

もう一つは「現場を知っている」ことです。  
現場を知るには、  
前掲の2番目の「情報収集マインド」が必要です。

2-3 否認を避ける対策 状況その3  
「将来予測で、発生可能性を低く見てしまう」場合

今回の原発事故が、これに該当します。  
これは、  
基本的には科学的な予測能力が関係してくるので、  
単に予測者の判断の問題だけではありません。

その時点の科学の限界は認めざるをえません。  
しかし、多くの薬害事件では、  
その時点で予測できたはずという判決が出ています。  
当事者たちは「甘く見ていた」ということになります。

福島第1原発での問題で言えば、  
予備電源の発電機の収納建屋を、  
完全防水状態にしなかったことが  
問題を引き起こす直接原因となりました。

これは、明らかに手抜きです。  
と言いますのは、その後建設された福島第2原発以降では  
完全防水状態になっているのです。  
それなら、遡って第1についても改修すべきだったのです。  
明らかに、その間の対応に矛盾があります。

状況その3に対する対策として、  
法医学者であった父上野正吉の遺訓をご紹介します。

鑑定は自らの学識経験に基づいて  
何者にも拘束されず  
ただ一つ己の良心に忠実に  
科学的な判断を下すものである

法医鑑定の場合は、おおざっぱに言えば、  
白か黒かの判断をすることになります。  
その場合に予断を持って鑑定作業を行ってはいけない、  
自分や誰かにとって都合がよいとか悪いとかを考えてはいけない、  
ということを行っているのです。  
逆に言えば、  
(科学のほうですが) そうなるリスクがかなりある  
という警告をしているのです。

---

「これでよいのか？」という問題意識を持ったら  
次のステップに移ることは容易です。

ここから先は、ビジネスなら事業分析の世界で、  
事業環境の分析、競合の分析 手法も専門家も多数存在します。  
コンサルタントなどの専門家も多数います。

個人の問題なら、  
 専門家を訪ねる、  
 専門書を研究する。  
 客観的な事実を整理する、  
 できればその結果について第三者の評価を受ける、  
 というようなことをすればよいのです。

結局のところ、  
過去のことの原因を追求するなら、  
その時に、どのような「否認」の動機があったのか  
を探求すれば状況が解明できるでしょう。

あるいは今、相手が不当と思える否認をしているのであれば、  
なぜ、そのような発言・行動をするのか、を探ることです。  
その人にとっていかなる「有利性」や「楽」があるのだろうか、  
と考えて対応策を練ればよいでしょう。

というようなことかと思われれます。

この項は読み返してみても歯切れが悪いですね。  
申し訳ありません。  
現在体調不良ですので、  
体調のよい時に再チャレンジさせてください。

---

#### ■ 地震対策チェックリスト

[http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post\\_8337.html](http://uenorio.blogspot.com/2011/04/blog-post_8337.html)

これは第31号（2011.4）でご紹介しました。  
そうしましたら、  
多くの方から追加のご意見をいただきましたので、  
当社役員が更新してくれました。  
その最新版をご紹介します。

是非どこかに貼っておいてください。

[http://www.newspt.co.jp/data/mailmaga/saigai\\_taisyo.pdf](http://www.newspt.co.jp/data/mailmaga/saigai_taisyo.pdf)

---

【弊社からのお知らせ 目次および開催日程】  
<http://www.newspt.co.jp/data/schedule.html>

- ▼ 保守業務の革新研究トップセミナー  
 ～保守コストの半減を目指して～ . . . . . 5/18
- ▼ 保守業務改革プロフェッショナル（Sweeper）  
 養成講座 . . . . . 5/26開講
- ▼ -プロジェクトを成功させる極意-  
 要求分析（2日間）コース（JUAS殿主催） . . . . . 6/1-2
- ▼ 保守コスト半減を目指すソフトウェア保守業務のプロセス改善 . . . . . 6/1  
 保守作業の改善ポイントと改善に必要な情報整備 . . . . . 6/2  
 （JUAS殿主催）
- ▼ PC管理の緊急対策セミナー . . . . . 6/8
- ▼ 2011年度SLCM研究会（システム・ライフサイクル・マネジメント研究会）  
 ～システム運用基盤の強化～ . . . . . 6/14スタート  
 ～ソフトウェア保守業務改革の実践～ . . . . . 6/23スタート
- ▼ システム分析・企画コース . . . . . 6/23-24

- 
- ▼ 保守業務の革新研究セミナー  
 ～保守コストの半減を目指して～ . . . . . 5/18

◆5月18日（水）14:00～19:00

<http://www.newspt.co.jp/data/semina/tops.html>

対象者：情報システム・IT部門長殿、  
およびそのご推薦の方で保守業務の改善にご関心のある方  
参加費：無料

◆開催が迫っております。是非ご参加の検討をお願いいたします。

---

▼ 保守業務改革プロフェッショナル（Sweeper）  
養成講座・・・・・・・・・・5/26開講

◆5月26日（木）から9月22日（木）までの間に9講座を  
隔週開催で実施します。  
その後、3カ月後に実践報告会を実施します（日程は未定）。

<http://www.newspt.co.jp/data/sweeper/sweeper.html>

対象者：・一般企業・情報子会社殿：システム／IT部門の中堅社員  
・情報サービス企業殿：社内またはお客様企業に対しての  
改善・改革の推進担当者

参加費：お2人のペア参加で525,000円（税込み）

◆内容等のご説明等に伺いますので、是非ご用命ください。

---

▼ -プロジェクトを成功させる極意-  
要求分析（2日間）コース・・・・・・・・・・6/1-2

◆2011年6月1日（水）～2日（木）

[http://www.juas.or.jp/seminar-event/open\\_seminar/detail.asp?SEMICODE=413049](http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/detail.asp?SEMICODE=413049)

J U A S 殿主催で、弊社講師が担当いたします。  
対象者：要求分析／要求定義を担当する方、又は研究されたい方、  
システム経験 3年以上の方  
時 間：10:00～18:30  
参加費：71,820円（消費税込み、テキスト込み）

---

▼ 保守コスト半減を目指すソフトウェア保守業務のプロセス改善・・・6/1

◆2011年6月1日（水）

[http://www.juas.or.jp/seminar-event/open\\_seminar/detail.asp?SEMICODE=413180](http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/detail.asp?SEMICODE=413180)

J U A S 殿主催で、弊社講師が担当いたします。  
対象者：開発ご担当者／保守ご担当者  
時 間：10:00～18:00  
参加費：39,900円（消費税込み、テキスト込み）

▼ 保守作業の改善ポイントと改善に必要な情報整備・・・6/2

◆2011年6月2日（木）

[http://www.juas.or.jp/seminar-event/open\\_seminar/detail.asp?SEMICODE=413181](http://www.juas.or.jp/seminar-event/open_seminar/detail.asp?SEMICODE=413181)

J U A S 殿主催で、（株）データ総研講師が担当いたします。  
対象者：開発ご担当者／保守ご担当者  
時 間：10:00～17:00  
参加費：39,900円（消費税込み、テキスト込み）

---

▼ 第2回 PC管理の緊急対策セミナー・・・・・・・・・・6/8

◆6月8日（水）15:00～19:00

<http://www.newspt.co.jp/data/semina/lic.html>

震災などへの災害対策に有効なPC統合管理システム「LIC」  
(Live Image Client : CTO(株)が開発した「新世代統合管理システム」)  
をご紹介します緊急セミナーを開催いたします。

参加費：無料

---

▼ 2011年度SLCM研究会 (システム・ライフサイクル・マネジメント研究会)  
—今年度は2つの研究会を実施いたします。—

◆システム運用基盤の強化の研究会 (通称：運用研究会)・・・6/14スタート

開催日程：2011年 6月14日(火)、7月20日(水)、9月8日(木)、  
11月17日(木)、2012年1月19日(木)、3月15日(木)  
\* 年間6回、各回とも14:00~18:30まで、その後情報交換会を実施します。

[http://www.newspt.co.jp/data/slcm/unnyou\\_ken.html](http://www.newspt.co.jp/data/slcm/unnyou_ken.html)

対象者：一般企業様：システム・IT担当部門の保守運用責任者・管理者様、  
情報サービス企業様：運用業務責任者・管理者様、企画担当者様  
いずれも、運用の実務者とペア参加されるのがお勧めです。  
これまでのSLCM研究会へのご参加は不問です。

参加費：お1人参加：210,000円  
お2人参加：315,000円 (いずれも税込)

◆ソフトウェア保守業務改革の実践研究会 (通称：保守研究会)  
・・・6/23スタート

開催日程：2011年 6月23日、9月15日、12月15日、2012年3月8日  
\* 年間4回、いずれも木曜日の開催です。  
各回とも14:00~18:30まで、その後情報交換会を実施します。

[http://www.newspt.co.jp/data/slcm/hosyu\\_ken.html](http://www.newspt.co.jp/data/slcm/hosyu_ken.html)

対象者：ソフトウェア保守業務の改善・改革をミッションとしておられる方、  
ご関心のある方など、是非ご参加ください。  
これまでの研究会へのご参加は不問です。

参加費：お1人参加：189,000円  
お2人参加：241,500円 (いずれも税込)

---

▼ 第15回 システム分析・企画コース・・・・・・・6/23-24

◆2011年 6月23日(木)~24日(金)

<http://www.newspt.co.jp/data/kensyu/open/f11.html>

内容：システムの問題分析からシステム企画提案書作成に至る各種手法  
対象者：職務経験3年以上の方、その他の制限はありません。  
時間：9:30~18:00  
参加費：81,900円 (テキスト代、e-learning・税込み)

---

お申し込み・お問い合わせにつきましては本メールへの返信あるいは  
弊社HPよりお願いいたします。

↓  
<http://www.newspt.co.jp/data/schedule.html>

☆☆アドレス変更・送信停止等は本メールへの返信にてお願いします☆☆

=====

システム企画研修株式会社  
Tel : 03-5695-3130、Fax : 03-5695-3131  
〒103-0001 中央区日本橋小伝馬町16-2 東事協ビル2F  
mind-pc@newspt.co.jp  
<http://www.newspt.co.jp>

=====